

I 調査概要

■調査の目的

現在、台東区には多くの在住外国人が生活している。その割合は年々増加しており、今後もさらなる増加が予想されている。このような現状から、多様化・複雑化する在住外国人のニーズに対応するとともに、地域における多文化共生の意識を醸成し、日本人と外国人がともに地域の担い手として活躍する地域づくりを推進するために、区では多文化共生推進プランを策定することとした。

本調査は、多文化共生推進プラン策定の基礎資料とするとともに、今後の台東区の多文化共生推進に役立てるために実施した。

■調査方法

調査票の発送によるアンケート調査、及びウェブ調査により実施した。

調査は、区内在住の「外国人」及び「日本人」の2つの対象に向けた調査票を用いて行った。

	外国人意識調査	日本人意識調査
調査地域	台東区全域	台東区全域
調査対象	18歳以上の区内在住の外国人 5,000人	18歳以上の区内在住の日本人 2,000人
調査方法等	○抽出方法:住民基本台帳からの無作為抽出 ○調査方法:郵送配布－郵送回収 またはウェブ回答 ※やさしい日本語版と対象者の国籍に合わせた翻訳版の調査票を同封	○抽出方法:住民基本台帳からの無作為抽出 ○調査方法:郵送配布－郵送回収 またはウェブ回答
言語	英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、やさしい日本語	日本語
調査期間	令和2年8月28日～9月10日	令和2年8月28日～9月10日

■言語別調査票発送の内訳(外国人意識調査)

言語別調査票の内訳は以下のとおりである(外国人の調査のみ)。

言語	発送数(部)
やさしい日本語	5,000
回答者の国籍に合わせた言語	5,000
英語	971
中国語(簡体字)	2,304
中国語(繁体字)	168
韓国語	871
ベトナム語	286
タガログ語	271
タイ語	129

■アンケート調査の回収結果

アンケート調査の回収結果は以下のとおりである。

	外国人意識調査	日本人意識調査
標本数 :A	5,000	2,000
郵便物未着数 :B	274	14
調査対象数 :C=A-B	4,726	1,986
有効回答数 :D	1,219 (内、ウェブ回答数 315)	933 (内、ウェブ回答数 113)
有効回答率 :E=D/C*100	25.8%	47.0%

■調査結果をみる上での注意事項

- ・集計は小数点第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向をみるにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・本文中の「全体平均と比較して高い・低い」は、原則、全体平均より10ポイント以上差のあるものを挙げている。